

第18回  
21世紀の

# 縄文人展



2026

7.18 (土) ▶ 8.23 (日)

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

火・水曜休館 入場無料

常設展観覧の際は観覧料が必要です

会場：北杜市考古資料館

山梨県北杜市大泉町谷戸2414 ☎ 0551-20-5505

主催・問合せ：北杜市教育委員会学術課 ☎ 0551-42-1375

協力：ハケ岳アート&クラフトネットワークおらんうーたん

■ギャラリートーク

7月26日(日) 14:00~14:50

■ワークショップ「縄紋様トレー制作体験」

8月2日(日) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

8月3日(月) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

■金生遺跡ライブ「原始の記憶 Vol.12」

8月22日(土) 16:00~17:00

出演：GENSHI 楽団

会場：金生遺跡

\*雨天時は北杜市考古資料館内にて開催。

関連イベント

縄文人の感性に  
現代人はどこまで  
迫れるか

今年もハケ岳南麓に  
21世紀の縄文人たちが  
現れる





### 山本 明良

「雲のカケラ、石のカケラ」

八ヶ岳のふもとで45年も石を刻んでいる。ふと見上げる雲に私とこの地との長い時間の関係の中に生まれる幻想が浮かんで消える。



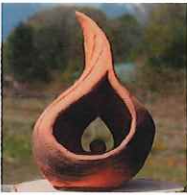
### 宇々地 (うーじ)

1993年より古代土笛の制作、演奏活動と共に縄文への探求が始まる。2009年に北杜市に拠点を構え八ヶ岳での活動を始める。2012年より縄文人展に参加しインスタレーション作品の展示と金生遺跡での奉納演奏を行う。今もお息づく縄文の鼓動に耳を傾け、その音との共振を試みている。



### 村岡 由季子

毎年 GENSHI 楽団による金生遺跡での奉納演奏を聴きに行っています。そこで時折流れてくる風が時空を超え縄文時代から流れてくる風に感じます。その風を身体で受け取ると、巡りくる命の循環の一部である事を思い出させてくれ、そんな感覚を作品にしています。



### 安山 直子

太古の昔から たゆまなく続く縄文の息吹  
八ヶ岳の大地に身をおくと 時空を超えて  
縄文の鼓動が 私の心を引き覚ます  
祈る心 それは縄文から現代 未来へと続いている  
いつの時代も 人が祈る気持ちには変わりはない  
遙かなる縄文への想いと愛 それが私の縄文ロマン



### 川崎 文雄

縄文の長い時代に造られた土器や土偶の造形の美しさには驚くべきものがある。  
縄文時代の造形に思いを巡らせて、土を焼き「ひと」をつくってみた。



### 中山 由季

縄文時代に意識を飛ばして その時代のその場所に居る気分  
で周りを見渡すとアラ海の中にいる！海面に顔を出して陸地を眺めている半魚人の私。。。



### 伊藤 和智 / 石あるく

地元小淵沢生まれ。曾祖父の代から石屋を営む。  
人の心をつなぐお墓づくりをめざしている。  
縄文人展では、太古に生まれた石の持つ霊性を感じながら、八ヶ岳の地で循環する命を表現したい。



### Naho

縄文スピリットに触れる旅

いのちの躍動  
人間の根源に還るような



### 濱本 和 (yori hamamoto)

八ヶ岳で縄文を感じ表現すること 現代に生きること

まるで真逆のように感じるその世界が交わり重なって、新たな社会を創出することを願いつつ制作しています。



### 松田 広昭 / デザイン工房 昴 (すばる)

(続) 縄紋様に魅せられて・・・  
1 万年以上平和が続いたと言われる縄文時代、それも謎ですが、縄紋様も様々な形に変化しながら続いたのも謎です。毎年作り続けている縄そのものによる縄紋様を現代風に表現しています。縄の不思議な造形の魅力にはまっています。今年の作品は只今構想中です。どんな物が出来るか楽しみに！



### 吉野 剛広

現代人が現代の恩恵を得ると引き換えに失った「なにか」。  
それがなんなのか、現代人には一生わからないのでしょうか。  
そのくせ、その「なにか」とともに生きていた縄文人をうらやましく感じ、その「なにか」を絵で表現しようと日々ががいます。

# 2026 7.18 (土) ▶ 8.23 (日)

## 9:00~17:00 火・水曜休館

縄文文化が花開いたここ八ヶ岳の麓。重厚かつ華やかな装飾の縄文土器。素朴な作りの土偶。洗練された機能美の石器。この地にいた縄文人の造形には驚かされます。現代、この地では多くの工芸作家が創作活動を行っています。かつての縄文人たちがこの大地から受けたさまざまなエネルギーを、現代の工芸作家たちも感じていることでしょう。八ヶ岳の縄文時代と現代を「ものづくり」を通じて結ぶ「21世紀の縄文人展」。縄文人の造形から感じたインスピレーションを、自身の作品に投影しています。現代の工芸作家は、18年目を迎えた今夏も縄文人の感性に迫ります。

### 関連イベント

#### ■ギャラリートーク

7月26日(日) 14:00~14:50

会場: 北杜市考古資料館 <入場無料>

出品作家が展示室で自身の作品についてお話しします。

#### ■ワークショップ「縄紋様トレイ制作体験」

8月2日(日) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

8月3日(月) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

対象: 小学生以上 (小学1~4年生は保護者同伴)

定員: 各回3名

講師: 松田広昭氏 (作家/デザイン工房 昴)

参加費: 900円

会場: 北杜市考古資料館

※詳細は別途チラシ参照

#### ■金生遺跡ライブ「原始の記憶 Vol.12」

~世界の民族楽器による即興演奏と遺跡の解説~

8月22日(土) 16:00~17:00

会場: 金生遺跡 <入場無料> \*雨天時は北杜市考古資料館内にて開催。

出演: GENSHI 楽団

宇々地 (土の笛・聲・他)

谷山明人

(パラフォン・パーカッション・他)

kuma-chang

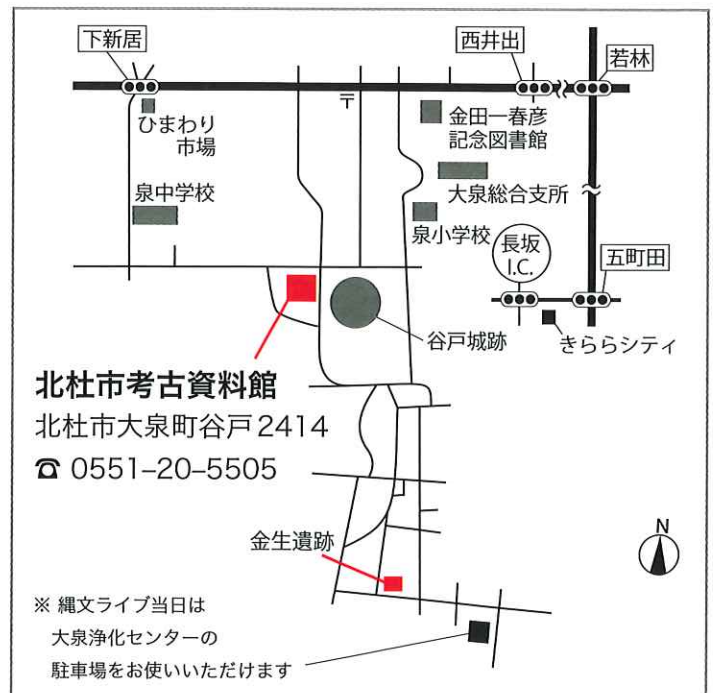
(ンゴニ・パーカッション・他)

多麻美

(イダキ・ディジュリドゥ・他)

音響: Amana Sound

遺跡解説: 山本 真史 (学芸員)



### 北杜市考古資料館

北杜市大泉町谷戸 2414

☎ 0551-20-5505

※ 縄文ライブ当日は

大泉浄化センターの

駐車場をお使いいただけます

主催・問合せ: 北杜市教育委員会学術課 ☎ 0551-42-1375

協力: 八ヶ岳アート&クラフトネットワークおらんうーたん

発行: 北杜市教育委員会学術課